

こんにちは。
町長です。

新庁舎建設にあたり小鹿野庁舎を閉庁いたしました



昭和41年(1966年)11月に利用を開始した小鹿野庁舎については、新庁舎建設に伴い取り壊すこととなり、その役目を終えこの4月30日をもって閉庁いたしました。

約55年間町役場庁舎としての歴史を刻んできた建物がなくなることは大変寂しい気持ちがありますが、また、新しい時代のスタートにふさわしい新庁舎に生まれ変わることに大きな期待がございます。

小鹿野庁舎にあった各課等はすべて5月連休中に両神庁舎に引っ越し、5月6日からそちらで業務がスタートいたします。町民の皆様には新庁舎建設までの間大変ご不便をおかけいたしますがご容赦いただきたいと思います。

なお、既にご案内してございますが、役場窓口業務の主体が両神庁舎へ移転しますので、窓口業務の一部(戸籍謄本・抄本、住民票の写し、印鑑登録証明書、所得課税証明などの発行、納税等収納業務)は小鹿野中央病院隣接の保健福祉センター内の福祉課で行います。

窓口業務で不明な点は、戸籍等に関する事項は、住民生活課(☎75-1418)、税に関する事項は、税務課(☎75-4125)までご連絡ください。

さて、新庁舎建設につきましては、前福島町長時代から耐震診断を実施したり、町内の各種団体代表者や識見を有する方などの委員会を設置するなど様々な議論検討を重ねてまいりました。

私が平成29年10月に町長に就任してからそのような議論を踏まえる中で町民の皆様との町政懇談会の場での意見交換をはじめ、基本構想策定に係る町民ワークショップの開催など、丁寧に議論を重ね令和元年度に基本構想を策定いたしました。

基本構想では新役場庁舎の建設場所として、小鹿野庁舎のある現在地、構造としては小鹿野産木材を利用した木造庁舎での検討、財源については合併特例債の活用や国、県補助金の活用の検討、両神庁舎等にある課の集約化などが盛り込まれました。

その後、設計業務の委託につきましてはプロポーザル方式により、香山壽夫建築研究所に決定し、令和元年度から3年度にかけて基本設計、実施設計の策定を進めてまいりました。

令和3年度当初予算に小鹿野庁舎の取り壊し工事、新庁舎建設工事を計上いたしましたので、今後契約を締結し工事着手になります。新庁舎の完成は、令和4年度中を目指したいと存じます。

小鹿野町長 森 真太郎